

5/26

安保条約廃棄 中立日本の実現と中教富強申請、大学民主化をめざす

6.5全関西学生連帯総決起集会参加

11時40教室で学内集 66(決起集会)扇町公園 御座前→ナバ^主元賛行 主催: 大阪京都兵庫府学連

学友のみなさん！

日本のアジア会への参加は、アメリカのカンボジア侵略への援助という
 裏で重要なできごとであったとともに、日本反動勢力が戦後はじめて直接
 にアジアの安全保障を議題とする会議に出席して指導的役割を果たした。
 つまり、日本が戦後初めて、直接に軍事力をもたない形ではあるが、条約
 ともいえない相互安全保障に加担し、アジア安定の主役につこうとして
 います。日本反動勢力は、これら海外進出をうち出したのとあわせて、日
 米安保条約を「アジア核安保」に改題しようとする方向、つまり、「極東の
 自衛隊の海外派兵と核武装化、そしてこれらの頂点として、在日米軍と韓
 国軍と自衛隊の緊密な作戦行動の体系化——を打出す、日本人民とア
 ジア人民を抑圧する策動を進めています。更に、従来密めと考へられて
 いた事前協議は、空洞化されている。日米共同声明では、韓国、台湾の安
 全が日本の安全と直結している事を確認し、韓国、台湾の緊急事態に事
 前上「工区」の返事を与えることを約束している。また、在韓内閣は、事前
 協議の承諾は作戦行動の一つ一つにあたるのではないと、事実上の「拒否
 詔」を明らかにし、ひとたび戦争がおこれば日本本土が自由平等の基地と
 なり、韓国を戦場とするかも知れない態度をとっています。またこの
 ような安保条約の「アジア核安保化」をめざす中心的な位置におかれている
 沖縄は、アメリカが「毒ガス」の撤去を大幅に遅らす方針をとりつつあること
 に対し、自己の生命をかけたあつたな反基地斗争を進展させ、アメリカの
 植民地支配そのものに対する斗争を準備し、全軍勢を中心として二月—三
 月の斗争をひきつづき発展させようとしています。また、全軍勢の斗争を
 弾圧するうえで「基地縮小・合理化」の攻撃は、世論上で不利な役割をはた
 した。在日米軍基地の使用東能が、「三沢・横田・在日米軍など六ヶ所を
 隊や使用回数が増加していることが示すように、中心的基地はますます増
 化してゆく方向が基本路線である、ことを確認しなければならぬ。

学友のみなさん！

何れをめぐる重なる情勢のもとで、学友が固着してしまふことによつて、
 全民主勢力の統一戦線促進の「ハラルド」になることがますます重要にな
 つてきています。68を一ヶ月後にひかえた今日、京都、兵庫、大阪の名を
 連は支向して、連帯総決起集会を6・5に扇町で開かれます。全学連
 支務会議は六月二十三日を、先頭に立つて斗かうことを決意するとともに
 すべての学友が、クラスやサークルにおいて討議し、一致した点において
 行動し、自らの意思を
 表明されることを訴え
 たいと思います。

5/26
全学連帯総決起集会

すべてのクラスに呼びかけ